

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

あいさつが増えれば業績が上がる

金原亭 世之介 (真打ちの落語家・飲食チェーン「宇奈とと」を手掛け成功する)

1. 中小企業の社長が日頃から社員へ「きちんとあいさつするように」と、口を酸っぱく指導している理由は、実は、「あいさつが増えれば、業績は上がるから」です。朝、「おはようございます」と声を出せば、パワーが生まれます。ここでいうパワーとは、抽象的な精神力ではありません。実際に、体に力がみなぎるのです。工場では作業効率が上がるし、サービス業ではお客様をご案内する足取りが軽くなり、営業マンは多くの見込み客を回れるようになります。
2. 18 歳で落語の世界に入った私が、会社の経営をしようと決意したのは 40 歳の時でした。選んだのは「うな井のファストフード店」でした。経営は素人でしたが、何か一つほかの会社にはない特徴を打ち出そうと考えたのが、「日本一あいさつをする会社にする」というものでした。私のうな井チェーンはオープン以来、着実に店舗ふやしましたが、マスコミは、低コストでのうなぎの調達方法などを評価してくれましたが、躍進の本当の秘密は、朝から晩まで徹底的にあいさつにこだわったことなのです。
3. そのあいさつとは、「おはよう」「お疲れ」「ご苦労様」といったごく普通のあいさつを、元氣良く交わし合えばよいのです。
(参考:「日経ベンチャー」2007 年 7 月号)

人事・労務について

高齢者の名ガイドぶり

1. 社会の少子高齢化が急速に進む中、熟年の人材活用の充実を求める声は確実に高まっている。こうした状況下、政府の「再チャレンジ支援」は 2010 年までに、65 歳以上を定年とする企業の割合を 50%に、更にそのうち 70 歳まで働ける企業の割合を 20%にすることを目標に掲げた。
2. 50 歳から 70 歳代の利用者が 70%以上を占めるという会員制の旅行会社クラブツーリズム(株)では、意欲ある顧客に旅程管理資格を取得させ、自社の添乗員として育成する。1996 年から開始した F F S (フェローフレンドリースタッフ)の採用条件は原則 65 歳まで。もともと旅行好きの人が多く、ツアー参加者と年齢が近いので話題を共有でき、心が通じ合う。登山、写真など自分の趣味を生かし、人生の達人らしい円熟味のある名ガイドぶりで、参加者の心をとらえている。(参考:「野村週報」:2007 年 8 月 6 日号)

海外事情

環境に優しい地ビールが復活 (英国)

1. 英国では、しばらくの間、人気は下降気味だった地ビールが息を吹き返しつつある。パブの裏手などで伝統的な醸造法で造られる樽ビールは、1960 年代から 70 年代にかけて全国規模や地方の大手ビール業者に次々と飲み込まれていった。しかし、2000 年に税法が改正されて小規模生産者に対する課税率が低くなり、地ビールが価格で有利になった。また、有機栽培への消費者の関心の高まりを反映して、昨年 1 年だけで 60 の小口業者が誕生。全国の合計は 500 ケ所となった。
2. 年間の生産量は合わせて 40 万樽で、数百万樽のビールを工場大量生産する大手ビールメーカーとは比較にならないが、地元産のホップを使って独自のうまみを追求する地ビールは業界に活気を与えている。さらに、造られたその場で飲むため、輸送に絡む環境汚染もないということで、環境に気を使う消費者にも評判がよい。
(参考:「WEDGE」2007 年 8 月号)

古典に学ぶ

人に与える

「人の物を我に乞うをば厭うこと勿れ。我の物を人に乞うをば厭うべし」

(訳) 人が自分に物を求めたなら与えるがよい。しかし、自分が人に物を乞うことはしてはならない。

(参考:佐藤一斎「言志四録」:PHP文庫)